

令和5年3月 南魚沼市議会定例会  
一般質問順位表

質問順位	議席番号	質問者	日程
1	19	桑原圭美	6日 (月)
2	6	田中せつ子	
3	8	永井拓三	
4	7	中沢道夫	
5	16	鈴木一	
6	10	吉田光利	
7	13	佐藤剛	7日 (火)
8	15	中沢一博	
9	2	川辺きのい	
10	18	牧野晶	
11	4	目黒哲也	
12	14	寺口友彦	8日 (水)
13	11	塩川裕紀	
14	3	大平剛	
15	1	黒岩揺光	
16	9	勝又貞夫	
計		16名	

【質問方式】（質問制限時間は、いずれも答弁時間を含め 60 分）

一括質問一括答弁方式： 全質問項目を一括して行い、答弁も一括して行う。  
（初回は登壇して行い、質問回数は 3 回まで。）

一問一答方式： 質問及び答弁を一問ずつ行う。（ただし初回の質問は、登壇して最初の質問項目のみをまとめて行う。質問回数に制限なし）

複合型一問一答方式： 一問一答方式において、質問大項目の最初の質問はまとめて行い、以降は一問ずつ行う。（質問回数に制限なし）

質問 順位	質 問 内 容
1	<b>物価高騰に対する支援策強化について</b>
議席	
19	
桑 原 圭 美	<p>ロシアのウクライナ侵攻に端を発する原油高、物価高による家計負担の増加は深刻な状況になっている。加えて資源に乏しい我が国にとって、円安が大きな弊害になっている。</p> <p>年末年始の会合では、企業経営者から経営が大変だという声が多く、市民からは、同じ消費活動をしているのに負担だけが増えていると聞いた。</p> <p>政府が言い続けてきた賃金アップの実現は一部の大企業にとどまり、中小零細企業との格差は広がるばかりである。税収の落ち込みがないのは、公的資金が支援という名で市井にあふれているからであり、これは本来の姿ではない。</p> <p>個人や企業に対する支援は一時的、短期的なものであるという認識でいるのが常識で、持続可能な市の教育や福祉の向上に向けて、早く経済構造の転換を図るべきであると考えている。</p> <p>(1) 社会情勢で増加する生活費への市独自の支援をどのように考えるか。</p> <p>(2) 物価高騰や円安に対する市内企業への支援策を検討しているか。</p>
(一問一答方式)	

質問 順位	質 問 内 容
2	<p>1 結婚の希望をかなえる支援の推進について</p>
議 席	
6	
田 中 せ つ 子	<p>第2次南魚沼市総合計画には、総合的な人口減少対策の推進として、婚活・交流イベントの開催回数は令和6年目標値が6回とある。未婚化や晩婚化は少子化の原因の一つといわれ、多くの自治体が婚活支援に力を入れている。当市の出生数は年間で300人を割り込むという危機的状況にある。今までどおりの取組を超えた、多様な支援の拡充が必要と考える。</p> <p>(1) 多くの自治体で取り組んでいるような、県のハートマッチにいがたや、民間事業の登録料の助成に取り組むべきではないか。</p> <p>(2) ウイズコロナが始まるが、友好都市との交流を深め、移住定住施策と連携した取組に力を入れるときではないか。</p>
(一 問 一 答 方 式)	<p>2 心とからだの健康づくりの推進について</p> <p>コロナ禍でこれまでの3年間は、祭りやイベント等の人が集まる機会が激減し、心身への影響を心配する声が上がっている。人との交流が健康づくりには欠かせないと痛感する。停滞した3年間を取り戻すよう、日頃の健康づくりの機会を増やす取組が必要と考える。</p> <p>(1) 南魚沼市食生活改善推進員の活動は、生活習慣病予防等に重要な役割を果たしているが、六日町地区では調理室が限られており、十分な活動ができない状況にある。場所の確保をどう進めるか。</p> <p>(2) 元気な高齢者が集う機会が不足している。交流の場をどう増やすのか。</p>

質問 順位	質問 内 容
3	<b>冬季スポーツを通じた生涯スポーツについて</b>
議席	
8	
永 井 拓 三  (一問一答方式)	<p>市の観光の基軸でもあるスキー・スノーボードなどを目的に、現在でも年間 100 万人以上が来訪している。その冬季スポーツは観光産業だけでなく、健康増進につながるような運動強度を持っているため、純粹に運動として楽しんでいる方も多い。そこで市民が積極的に冬季スポーツを通して健康増進や、教育に取り組むことを含めて生涯スポーツとして推進することをどのように計画しているか、伺う。</p> <p>(1) 学校教育における冬季スポーツの取組はいかに。</p> <p>(2) 冬季スポーツによる観光政策は今後どのように発展させていく予定か。</p> <p>(3) 健康増進をすることにより医療費を削減することができるが試算しているか。</p> <p>(4) 除雪をエクササイズにするなどの新しい発想との連携は考えているか。</p> <p>(5) 市民の健康増進を目的とした市内スキー場の共通シーズン券について、どのように考えているか。</p>

質問 順位	質 問 内 容
4	1 日本の安全保障政策を大転換する大軍拡に対する認識を伺う
議席	(1) 安保3文書の閣議決定は、これまでの専守防衛から戦争国家づくりを目指すものだと思うが、見解は。
7	(2) 反撃能力＝敵基地攻撃能力の保有は、憲法第9条に違反すると思うが、見解は。
中	(3) 敵基地攻撃能力の保有によって、相手に日本を攻撃する口実を与え、日本を焦土にしてしまう危険が増すと思うが、認識は。
沢	(4) 軍拡ではなく、平和外交によって戦争を起こさせない努力がより重要だと思うが、見解は。
道	2 消費税のインボイス制度への市の対応と市長の認識を伺う
夫	(1) インボイス制度の導入により、免税業者が課税業者の選択を迫られたり、廃業を考えるなどの事態が広がっているが、国にインボイス制度の中止を求める考えはないか。
	(2) 市の一般会計の登録はどのように対応しているか。
	(3) 取引のある免税業者への対応をどのように行っているか。
(複合型一問一答方式)	



質問 順位	質問 内 容
6	<p><b>1 市内の労働環境について</b></p> <p>12月の新潟県有効求人倍率は1.58倍、当市は2.93倍と異常に高い数字であり、人手不足をはじめ労働環境の課題は多い。</p> <p>(1) 市内の雇用調整助成金の支給実態と、高い求人倍率の関連をどのように分析しているか。</p> <p>(2) 個人事業主をはじめ、地元企業にとって人手不足と最低賃金の大幅なアップは経営上厳しいものがある。市の現状をどのように捉えているか。</p> <p>(3) 建設業人材確保支援事業について、手応えと今後の拡大充実の考えは。</p> <p>(4) 外国人労働者の増加が見込まれるが、採用事業主への支援策も必要では。</p> <p><b>2 市民サービス向上について</b></p> <p>3町の合併により、主要機能を集約した本庁舎は手狭であり老朽化も進んでいる。市民へのサービス向上には、庁舎の環境改善、また人材の確保、活用、育成が不可欠である。</p> <p>(1) 新庁舎建設の必要性に対する考えに変化はないか。</p> <p>(2) 業務の効率化を図るため、時代に合った備品棚、書庫等を整える投資を積極的に進めるべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 職場のレイアウトについて、机はお客様向きにそろえたほうが、市の対応イメージ向上と効率アップにつながると思うが、どうか。</p> <p>(4) 接客の指導や休職・離職対策を踏まえた人材確保・育成は、どのように行われているか。</p>
議席	
10	
吉 田 光 利	



質問 順位	質問 内 容
7	<p>1 ひきこもり支援の現状と今後について</p>
議席	
1 3	
<p>佐 藤 剛</p> <p>(一問一答方式)</p>	<p>ひきこもりは、若者の問題とされていたが長期化するケースも多く、当事者の高齢化から 80 代の親が 50 代の子供の生活を支える 8050 問題の存在も現実化している。また大人になってからひきこもり状態になる事例も多く見られるなど、さらに深刻化するとされている中で、幅広い生活全般の支援、生きるための支援が必要な状況になっている。</p> <p>(1) ひきこもりの状況把握はどの程度できているか。</p> <p>(2) ひきこもり当事者、その家族等への相談体制と相談状況、及び支援はどのように行っているか。</p> <p>(3) 8050 問題の対応も含め、今後のひきこもり支援の考え方とその進め方は。</p> <p>2 人口減少、少子高齢化が進む市の自治体運営を問う</p> <p>(1) 中長期的な行政需要を見据え、持続する財政基盤を維持しながら市民生活を向上させるためには、最小の経費で最大の効果を上げるとい自治体の使命のもと、事業選択、事業推進が必要だ。どう実践するか。</p> <p>(2) 医療資源が少なく、少子高齢化が進む中で、医療のまちづくりの目指すところは。</p> <p>①新たな健診施設によって、市民の健康と命を守る保健・医療・福祉の充実をどう実践するか。</p> <p>②回復期リハビリ病棟、地域包括ケア病棟の今後の病棟運営と、両病棟から退院した後の在宅療養のリハビリ支援は。</p> <p>③2025 年の地域包括ケアシステムの構築が迫っているが、包括的なケアの実践的な連携で、医療と介護資源の不足を補い合う体制はできているか。</p>

質問 順位	質 問 内 容
8	<p><b>1 子育て支援で市に活力を</b></p>
議 席	
1 5	
中 沢 一 博	<p>2022年の出生数は政府の当初予測より8年も早く80万人を割り込む見通しとなったことは、社会に衝撃を与えた。これは市でも同様である。出生数の急減は、市の社会や経済に大きな影響を及ぼすことになり、このままでは社会保障制度などの持続可能性が危ぶまれる。そこで、少子化対策の一層の加速を強く求める。</p> <p>(1) 2023年度の当初予算に、加速する少子化について市独自の新たな支援策をどう検討したか。</p> <p>(2) 0～2歳児への支援充実に向けた妊娠・出産時の計10万円給付の恒久的実施を求めるが。</p> <p>(3) 0～2歳児の保育料の第2子無償化を早急に実施するよう求めるが。</p> <p>(4) 3歳児健康診査において、弱視の早期発見・治療を目指した屈折検査機器の導入を求めるが。</p>
(一 問 一 答 方 式)	<p><b>2 物価高から市民の暮らしを守る追加策を講じよ</b></p> <p>物価高が大きな社会問題になっている。コロナ禍による供給網の混乱に加え、ウクライナ危機に伴う資源やエネルギー価格の高騰が主な要因で、市民生活を直撃し、対策は待ったなしである。市の支援策を伺う。</p>

質問 順位	質問 内 容
9	<b>物価高騰から暮らしと地域経済を立て直すための施策について</b>
議席	
2	
川 辺 き の い  (一問一答方式)	<p>物価高騰による市民の暮らしと地域経済の悪化が深刻になっており、この打開が急務であることを踏まえ、以下3点について伺う。</p> <p>(1) 岸田政権は異次元の子育て支援を打ち出している。子育て世代の一番の願いは、教育負担の軽減である。給食費無償化に踏み出す自治体が急速に広がっている。地方から子育て支援の充実に踏み出す一歩として、学校給食費の無償化に踏み出すべきではないか。</p> <p>①市で無償化に必要な予算はいくらか。</p> <p>②教育費の負担軽減、学校給食費の無償化を国に求めるべきではないか。</p> <p>(2) 賃上げなどにより内需を活発にすることが、現状打開の鍵である。賃金引上げの必要性を否定する人はいないのではないか。</p> <p>①資本金 10 兆円以上の大企業の内部留保に対する時限的課税によって、全ての企業で賃上げを実現する日本共産党の緊急提案について、市長の所見を伺う。</p> <p>②市としてもできることを実施すべきではないか。そうした施策はあるか。</p> <p>(3) 住民の命と安全な暮らしを支える大切な機関である医療機関や介護・福祉施設などは、コロナ対応に加えて、光熱費の値上げによる負担が大きいのしかかっている。こうした施設が、経済的な不安なく、その役割を果たせるような支援が必要ではないか。</p>

質問 順位	質問 内 容
10	<p style="text-align: center;"><b>学校運営について</b></p> <p>市ではこの冬に児童生徒の中でインフルエンザが流行した。インフルエンザ対策をしっかりとした上で学校運営を行うべきと考える。そこで、以下の点について問う。</p> <p>(1) 中学の修学旅行は2月頃に行く学校が多いが、インフルエンザで修学旅行に行けなかった生徒がいたと聞く。中学時代の大きなイベントである修学旅行を、インフルエンザの流行する1月や2月に実施するより別の時期に行ってはどうか。</p> <p>(2) 学校運営の視点で、児童生徒のインフルエンザ予防接種に補助してはどうか。</p>
議席	
18	
<p style="text-align: center;">牧 野 晶</p> <p style="text-align: center;">(一問一答方式)</p>	

質 問 内 容
質 問 順 位
1 1
議 席
4
目 黒 哲 也  (一問一答方式)
<p style="text-align: center;"><b>学校教育について</b></p> <p>「教育は国家百年の大計である」という言葉は、人材育成こそ国家の要であり、また 100 年後の日本を支える人物をつくるために長期的視点で人を育てることの大切さを説いた名言である。</p> <p>市の未来も人づくりにかかっている。</p> <p>教育は子供たちの将来の土台づくりであり、子供たちの可能性をつくるものである。子供たちの可能性を中学生までに最大限伸ばしてあげることが大切であると考え、以下の 5 点について伺う。</p> <p>( 1 ) 市が目指す学校教育理念や学校教育方針は。</p> <p>( 2 ) 学力向上に向けた学習指導における課題と取組は。</p> <p>( 3 ) 急速に変化している社会環境で、現在の児童生徒の課題と取組は。</p> <p>( 4 ) 学校と家庭の連携について課題と取組は。</p> <p>( 5 ) 小中一貫教育について考えは。</p>

質問 順位	質問 内 容
1 2	<p>1 空き校舎を利用した子どもランドについて</p>
議 席	<p>旧石打小学校の校舎を活用し、統合保育園、子育て応援施設、発達障がい支援施設として子どもランドにする考えはないか。</p>
1 4	<p>2 道の駅の観光拠点強化について</p>
寺	<p>道の駅南魚沼に民間ファンドを呼び込み、グランピングの聖地として夏冬遊べる観光拠点にする考えはないか。</p>
口	<p>3 デジタル化推進について</p>
友	<p>D X推進室の設置で、人材確保、除雪体制、災害対応はどう変わるのか。</p>
彦	<p>4 清津川・魚野川試験放流について</p>
(一問一答方式)	<p>東京電力湯沢発電所が発電に使わず清津川に戻す試験放流量の緊急事態での増減、試験放流の中断について考えを伺う。</p>

質 問 順 位	質 問 内 容
1 3	<p style="text-align: center;">避難所に指定されている公共施設にLPガス供給設備の設置を</p>
議 席	
1 1	
塩 川 裕 紀  (一問一答方式)	

近年、日本各地で震度4以上の地震の頻度が高く、危機感を覚える。市においても2004年10月に発生した中越地震では、震度5強という激しい揺れに見舞われ、大勢の方々が避難を余儀なくされた。大きな災害が発生すると、公共施設の多くは避難所や災害対策の拠点となり、電気や熱源確保が重要となる。

そこで、国のエネルギー基本計画でも、災害時のエネルギー供給の最後の砦と位置づけられてきたLPガス供給設備を、避難所となる体育館などの公共施設に設置してはどうか、考えを伺う。

(1) 現在の災害時の避難所における電気・熱源確保の現状と考え方は。

(2) 普段は送電線で運ばれる電力などのネットワーク型エネルギーも必要だが、災害時に2～3週間に及ぶ停電が全国で起こっている。大きな災害時は、容器に詰めて運べるLPガスなどの分散型エネルギーも重要だと考えるが、市長の考えは。

質問 順位	質問 内 容
14	<p>1 冬期の交通確保について</p>
議席	
3	<p>ここ数年、新潟県内で大雪による通行止めが続いている。冬期の交通確保について、現状と今後の取組について市長の考えを伺う。</p>
大 平 剛  (一問一答方式)	<p>2 ポストコロナ時代における物価高騰期の福祉施設について</p> <p>政府は5月8日より、新型コロナウイルス感染症の位置づけを、現在の2類相当から5類に移行する方針を発表した。これにより、社会の閉塞感を取り除き、日常生活を取り戻し、経済の回復を図る方針だと考える。しかしながら、福祉施設においては利用者の属性により感染予防対策に通常以上に努める必要がある。さらに物価高騰による経費増が加わる中、市として福祉施設に対してどのように対応していくのか、市長の考えを伺う。</p>



質問 順位	質問 内 容
15	<p><b>1 議長の公職選挙法違反が報道されたことについて</b></p>
議席	
1	<p>林茂男市長と密接に関係している方による不正事案が後を絶たない。市長が所属していた市観光協会が実施した市の補助金事業で不正が既に2件あった。昨年末は、市長が議員時代、同じ会派で活動した塩谷寿雄議長が公職選挙法で禁じられている寄附行為を市内の飲食店2軒へ行ったと報じられた。</p>
黒 岩 揺 光  (複 合 型 一 問 一 答 方 式)	<p>(1) この報道について市長の見解を伺う。</p> <p>(2) この行為について選挙管理委員会が最初に把握したのはいつで、どう対処したのか伺う。</p>
	<p><b>2 政治団体が主催するコンパニオン付きの懇親会に市長交際費を使うな</b></p> <p>令和4年11月27日、林市長は塩谷寿雄議長就任祝いに参加し、市長交際費から会費10,000円を支払った。</p> <p>(1) 支出先が塩谷ときお後援会となっているが、交際費が政治団体に支払われたのは適切だったか。</p> <p>(2) 会にはコンパニオンが20人以上いたが、会費にコンパニオン代は含まれていたのか。</p> <p>(3) コンパニオン付きの祝賀会に市長交際費を使うのは不適切ではないか。</p>
	<p><b>3 市職員に対するセクハラ行為の注意喚起システム構築を</b></p> <p>塩谷寿雄議長と牧野晶議員が市職員に対するセクハラ発言をした。セクハラ行為に対して注意喚起するシステムが必要だと思うが、市長の見解を伺う。</p>

質問 順位	質問 内 容
16	1 図書館の改善について
議席	(1) 図書館協議会はあるべき姿として機能しているか。
9	(2) 内部に業務を確認する定期的なチェック機能はあるか。
勝	(3) 周辺の図書館をどのように参考にしてきたか。
又	(4) 図書館内のコーナーごとに担当を決めていないのはなぜか。
貞	(5) 行政資料の収集について、どのような改善が進んだか。
夫	(6) 本を購入するときの選書は適切に行われているか。
	(7) 県立図書館から直接指導を受けてきたとの答弁があったが、 どのような指導だったか。
	(8) 定期的な本の廃棄は誰がどのように判断するのか。
	(9) 図書館の改善計画をまとめ、組織的に改善に向けて取り組む べきではないか。
	2 時間外勤務の削減について
	(1) 時間外勤務を減らすことを目的として、毎週水曜日をノー残 業デーに定めているが、その成果はどのように数値化されてい るか。
	(2) 令和5年度予算において、時間外勤務手当の予算額を、過去 5年間との比較で最も少ない金額にできたのはなぜか。
	(3) それぞれの部・課・係ごとに時間外勤務手当の予算配分をし、 これを減らすための目標管理を行ってはどうか。
(一	
問	
一	
答	
方	
式)	